

～ やさしく かしく たくましい子ども ～

心の鏡



島原市立第一小学校

学校だより No.11

令和8年7月17日(金)

文責：校長 園田栄作

実りある一学期になりました

一学期の学習を保護者の方や地域の方にご協力いただき、実りある学習として実施することができました。最近の学習を振り返っても、皆さんに支えていただきながら学習ができていることを実感します。教科書だけでは学べない、体験的な活動や専門的な話を聞いたことは、豊かな学びになるとともに子どもたちがふるさとを好きになる意義ある活動となりました。学習がたくさんの方にお世話になってできていることに感謝です。

梅ジュース完成(3年生)

～ 森岳女性会の皆さんが届けてくださいました! ～

5月末に梅ちぎりをした梅を使って、森岳女性会の協力のもと、昨日梅ジュースが完成しました。できあがった梅ジュースを冷やした状態で学校に届けてくださり、さっそく子どもたちは給食の時間にいただきました。梅の香りがする炭酸が効いた梅ジュースを飲んで、「おいしい」と大喜びでした。自分たちで収穫してできた梅ジュースは格別のようにでした。



平和学習(4年生)

～ 青い目の人形「リトル・メリー」の学習を通して ～

13日(月)に4年生が、人形の会の皆さん(〇〇〇代表他2名)をお招きし、平和学習を行いました。本校にあるリトル・メリーの人形のことを通して、贈られた当時のことや人形に込められた思いなどを教えていただきました。子どもたちは人形のことをよく分かったことで、「これからもメリーちゃんを大切にしていこう」「世界が平和になるように」と思いを強くしました。



【概要】リトル・メリーは、今から99年前の1927年の5月に、日本とアメリカが仲良くなるようにと、アメリカから日本に贈られた人形です。その当時、日本とアメリカの仲が良くなかったときに、「子どもの時から、お互いの国を知って友情を深めれば大人になっても仲良く暮らせるはずだ」とギュリック博士の発案で人形が贈られることになりました。日本に贈られた人形は全部で12,739体あり、現在は長崎には2体(全国には300体)しか残っておらず、そのうちの1体が本校にあるリトル・メリーです。現在は、学校で大事に保管し、入学式やひな祭りの際にお披露目しています。

福祉学習（５年生）

～ 宝生園を訪問し、交流しました！ ～

５年生は、総合的な学習の時間を通して福祉について学習をしています。その学習の一つとして、３日（金）に宝生園（２カ所に分かれて）を訪問し、お年寄りの方と交流を行いました。子どもたちは、宝生園の〇〇様から、お年寄りの方との接し方について、事前学習をしており、「お年寄りの方は、どんなことをしたら喜んでもらえるのか」、「お年寄りの方は、どのくらいの声の大きさと速さで話すとより伝わるのか」などを考えながら準備して臨みました。当日は、全体で「マツケンサンバ」のダンスを披露したり、グループごとにすごろくや風船バレー、輪投げなどをしたりして、交流しました。お年寄りの方は、とても喜ばれ、笑顔いっぱいの交流となりました。

交流後の子どもたちの感想では、「お年寄りの方に楽しんでもらえてよかった。」「グループ交流の時は、ゆっくり、はっきり話すことができた。」「交流した後に、涙を流しながら握手をしてくださり、喜んでもらえて嬉しかった。」など、交流の充実ぶりを表していました。今回の経験を通して、これからお年寄りの方と関わる時や家族との団らんにおいて、相手のことを思いやった行動に生かされることと思います。



租税教室（６年生）

～ 税金について学習しました！ ～

１３日（月）に、島原市役所の税務課の方、２名をお招きし６年生が租税教室を行いました。税金という言葉はよく耳にするものの、実際には何に、どのように使われているかは、なかなか学ぶ機会がなかったため新鮮な気持ちで学ぶことができました。子どもたちは、クイズやビデオを通して理解を深めることができました。税金の種類（約５０種類）や１年間で小学生一人当たりに使われる税金（約９７万円）、または、税金のない世界になるとどうなってしまうのか、などについても考えることができました。

また、１億円（レプリカ）を実際に手にして、その重さを実感することができました。

今回学んだことを家庭でも話題にして、社会の一員としてさらに税金について理解を深めていってほしいと思います。

